

校友会（東京・神奈川）と教職員・学生が一体となって
下記地点のコース沿いに応援地点を設置いたします。
東海大学の応援のノボリを目印にお集まりください。

- 往路（1月2日）
- 7:30 頃【東京地区】第一生命日比谷ファースト前
 - 8:00 頃【大森地区】大森橋交差点付近 第一京浜沿道
 - 8:30 頃【川崎地区】旧川崎警察署前
 - 9:25 頃【戸塚上矢部町地区】横浜新道・戸塚出口付近
 - 10:00 頃【藤沢地区】藤沢警察署前
 - 10:30 頃【平塚地区】湘南大橋西岸付近
 - 11:30 頃【小田原地区】ローソン小田原浜町店前
 - 12:30 頃【箱根地区】元箱根交差点付近（Hakone 30 cafe）

- 復路（1月3日）
- 7:00 頃【箱根地区】元箱根交差点付近（Hakone 30 cafe）
 - 9:30 頃【平塚地区】湘南大橋西岸付近
 - 10:00 頃【藤沢地区】藤沢警察署前
 - 12:00 頃【川崎地区】旧川崎警察署前
 - 12:00 頃【日本橋地区】日本橋南郵便局前
 - 12:00 頃【日比谷地区】日比谷交番付近
 - 12:00 頃【高輪地区】泉岳寺駅付近 第一京浜沿道
 - 12:00 頃【東京地区】大手町プレイス横

※集合時間は例年を目安にしております。天候やレース展開によっては通過時間が前後する場合があります。

■中長距離ブロック 歴代PB 上位10傑

1,500円		5,000円		10,000円		ハーフマラソン	
3.36.55	飯澤 千翔	13.23.57	佐藤 悠基	27.50.59	村澤 明伸	1:02.03	鬼塚 翔太
3.40.49	館澤 亨次	13.29.21	石原翔太郎	27.51.65	佐藤 悠基	1:02.07	郡司 陽大
3.42.08	關 颯人	13.29.61	阪口 竜平	28.03.37	市村 朋樹	1:02.08	伊達 秀晃
3.42.20	木村 理来	13.33.44	塩澤 稀夕	28.05.91	石原翔太郎	1:02.11	松崎 咲人
3.42.24	溝口 仁	13.34.85	村澤 明伸	28.08.83	塩澤 稀夕	1:02.14	中井 祥太
3.42.58	佐藤 大樹	13.35.81	關 颯人	28.10.51	名取 燎太	1:02.16	白吉 凌
3.42.88	安倍 優紀	13.37.50	市村 朋樹	28.14.75	兵藤 ジュダ	1:02.17	松尾淳之介
3.43.47	荒井 七海	13.37.72	伊達 秀晃	28.15.65	花岡 寿哉	1:02.23	川端 千都
3.43.63	阪口 竜平	13.38.58	鬼塚 翔太	28.17.52	鬼塚 翔太	1:02.28	中島 怜利
3.43.67	松本 颯真	13.41.31	花岡 寿哉	28.21.32	伊達 秀晃	1:02.30	前川 雄

駅伝応援サイトを開設!!



本学では「駅伝応援サイト」を開設しています。エントリー選手やインタビューはこちらをご参照ください。

<https://www.u-tokai.ac.jp/campus-life/club/daigakueiden/>

第100回 東京箱根間往復大学駅伝競走

【応援ガイドブック】

東海大学



2024.01.02
2024.01.03
8:00 START

11年連続51回目の箱根路への挑戦!!

陸上競技部 STAFF

- 部長兼監督：高野 進
- ヘッドコーチ：西出 仁明
- 中長距離コーチ：小池 翔太
- 駅伝主務：渡邊 彩冬
- 駅伝監督：両角 速
- 中長距離コーチ：丹治 史弥
- 駅伝主将：越 陽汰

日頃より温かいご声援を頂きありがとうございます。
100回大会という記念すべき節目の大会に出場させていただけることに感謝し、
伝統を紡いでいけるようチーム一丸となって2日間戦い抜きます。
応援のほどよろしくお祈りいたします!



■本学の箱根駅伝の成績

大会回数	年	総合順位	大会回数	年	総合順位
第49回	1973	14位	第74回	1997	14位
第50回	1974	9位	第75回	1999	5位
第51回	1975	10位	第76回	2000	7位
第52回	1976	13位	第77回	2001	途中棄権
第53回	1977	6位	第78回	2002	14位
第54回	1978	10位	第79回	2003	7位
第55回	1979	11位	第80回	2004	2位
第56回	1980	10位	第81回	2005	6位(往路優勝)
第57回	1981	12位	第82回	2006	6位
第58回	1982	11位	第83回	2007	3位
第59回	1983	5位	第84回	2008	途中棄権
第60回	1984	6位	第85回	2009	18位
第61回	1985	13位	第86回	2010	12位
第62回	1986	7位	第87回	2011	4位
第63回	1987	6位	第88回	2012	12位
第64回	1988	8位	第90回	2014	13位
第65回	1989	8位	第91回	2015	6位
第66回	1990	8位	第92回	2016	5位
第67回	1991	8位	第93回	2017	10位
第68回	1992	10位	第94回	2018	5位
第69回	1993	14位	第95回	2019	優勝
第70回	1994	5位	第96回	2020	2位(復路優勝)
第71回	1995	8位	第97回	2021	5位
第72回	1996	4位	第98回	2022	11位
第73回	1997	8位	第99回	2023	15位

【過去最高順位】総合：優勝、往路：優勝、復路：優勝

駅伝監督 MESSAGE



両角 速 (モロズミ ハヤシ)

スポーツプロモーションセンター 教授
陸上競技部 駅伝監督

1966年7月5日生まれ
1985年3月 東海大学第三高等学校(※) 卒
1989年3月 東海大学体育学部卒

※現在の校名は「東海大学付属諏訪高等学校」

箱根駅伝を迎えるにあたり、東海大学を応援して下さる皆さまに、心より感謝申し上げます。また、日ごろからご支援いただいております多くの皆さまにもこの場をお借りして御礼申し上げます。

東海大学陸上競技部駅伝チームは、2018年度の箱根駅伝で初優勝を果たしました。翌年も準優勝と上位に入りましたが、以降5位、10位、11位、15位と悔しい結果が続いています。この悪い流れを打破するべく、今年度は「復活の狼煙(のろし)~振り返り東海~」をスローガンに掲げました。駅伝主将の越陽汰が中心となり、私生活から自分たちを見直した結果もあり、チームの軸である花岡寿哉や兵藤ジュダら2年次生を中心に勢いがつき、多くの選手が自己記録を更新してくれています。彼らに刺激を受けた多くの3、4年次生も奮起して、チームを引っ張ってくれています。1年次生も大学生活に順応して、早くもトップチームで練習を積んでいる選手も出てきています。

チームでの戦いでは、10月の箱根駅伝予選会は10位で本戦出場権を獲得しました。一見すると低い順位にも思えますが、ほとんどの選手が事前に決めたペース通りにゴールできており、選手たちの成長を感じる機会となりました。11月の全日本大学駅伝では9位とシード権が与えられる8位まであと一歩及びみせんでしたが、下級生中心のメンバーたちは箱根駅伝に向けて貴重な経験を積んでくれました。

100回を迎えた記念大会である箱根駅伝では、10位までに与えられるシード権獲得を目指し、復権への足掛かりにしていきたいと考えています。チームが上位に入れないと周囲からは厳しい言葉がかけられるものですが、私たちの周りには温かいエールを送って下さる方ばかりであり、選手たちにとって日々の励みになっています。箱根駅伝でも、皆さまへの感謝を形にするべく力走する選手たちに、よりいっそうのご声援をよろしくお祈りいたします。

東海大学エントリー候補選手

①所属学部 ②出身高校 ③5,000 種自己ベスト ④10,000 種自己ベスト ⑤ハーフマラソン自己ベスト



いしはら しょうたろう
石原 翔太郎
①体育学部
②岡山・倉敷
③13.29.21
④28.05.91
⑤1:03.48

最後の箱根駅伝を東海大学に貢献できる走りができるように頑張ります。



まつお こうき
松尾 昂来
①体育学部
②兵庫・西脇工業
③13.57.91
④28.21.10
⑤1:04.46

今ある自分の力を精一杯出して頑張ります。



みずの たつゆき
水野 龍志
①体育学部
②宮崎・小林
③13.57.25
④28.48.28
⑤1:04.06

チーム目標達成のために、どの区間でも全力を尽くします。



ひょうどう じゅだ
兵藤 ジュダ
①体育学部
②静岡・付属静岡翔洋
③13.54.70
④28.14.75
⑤1:03.33

区間賞目指して頑張ります。応援よろしくお祈いします。



おりくち ゆうき
折口 雄紀
①体育学部
②和歌山・智弁和歌山
③14.10.99
④29.26.38
⑤1:03.38

最後の箱根駅伝になります。最高の形で終わることができるようチーム全員で頑張ります。



まるやま まさたか
丸山 真孝
①体育学部
②新潟・中越
③14.18.73
④29.03.81
⑤1:05.22

最後の箱根駅伝必ずリベンジします。



すずき そらち
鈴木 天智
①体育学部
②岩手・一関学院
③14.05.12
④28.56.95
⑤1:02.58

いつも応援ありがとうございます。シードを獲得するために精一杯がんばります。



ゆのかわ そう
湯野川 創
①体育学部
②神奈川・付属相模
③13.42.78
④29.21.40
⑤1:04.24

区間一桁順位でたすきを繋ぎ、シード権獲得に貢献します。



きそう しゅんすけ
喜早 駿介
①体育学部
②宮城・仙台育英学園
③13.53.42
④28.52.13
⑤1:03.54

4年間の集大成なので、復活した走りを魅せます。



かじたに ゆうと
梶谷 優斗
①体育学部
②滋賀・滋賀学園
③13.45.56
④28.27.77
⑤1:03.18

昨年度初めて箱根駅伝を走らせて頂き、悔しい思いをしたのでリベンジできるように頑張ります。



たけわり まこと
竹割 真
①文化社会学部
②熊本・九州学院
③14.09.65
④28.50.39
⑤1:03.34

いつもご声援ありがとうございます。チーム目標に貢献する走りを目指します。



ろほまん しゅもん
ロホマン シュモン
①体育学部
②神奈川・市立橋
③14.12.45
④29.07.48
⑤1:02.40

初の箱根駅伝挑戦となりますが、区間上位で走りシード権奪還に貢献します。応援よろしくお祈いします。



きはら だいち
木原 大地
①理学部
②神奈川・湘南工科大学付属
③14.27.51
④29.38.26
⑤1:04.08

お正月から地元を盛り上げる走りを見せたいです。



こし はると
越 陽汰 駅伝主将
①体育学部
②長野・佐久長聖
③13.53.77
④28.48.37
⑤1:03.38

シード権を必ず取ります。応援よろしくお祈いします。



なかい りくと
中井 陸人
①文学部
②岡山・倉敷
③14.19.38
④30.10.16
⑤1:04.17

全力でチームに貢献します。応援のほどよろしくお祈いします。



ながもと しゅう
永本 脩
①体育学部
②熊本・九州学院
③13:49.58
④29:22.16
⑤1:04:10

チームに貢献する走りができるように頑張ります。東海大学の応援よろしくお祈いします。



ささき ようせい
佐伯 陽生
①体育学部
②三重・伊賀白鳳
③13.55.89
④29.02.23
⑤1:04.01

リベンジできるように頑張ります。



のじま けんた
野島 健太
①文化社会学部
②千葉・流経大柏
③14.09.99
④28.27.63
⑤1:04.18

任された区間を全力で走りチーム目標のシード権獲得に貢献します。



はなおか ひさや
花岡 寿哉
①情報理工学部
②長野・上田西
③13.41.75
④28.15.65
⑤1:03.23

シード権獲得へ流れを作る走りができるように頑張ります。



みなみさか ゆうた
南坂 柚汰
①体育学部
②岡山・倉敷
③13:54.90
④29:08.31
⑤1:03:15

チームの目標に少しでも貢献できるように頑張ります。

箱根駅伝コース紹介

※写真は前回大会の走者



■1区【大手町→鶴見（21.3km）】

コースは全体的にフラットでスピードランナーを起用するチームが多い。83回大会の佐藤悠基選手による1時間01分06秒が現在の東海大学記録。50回大会の宮田将美選手、81回大会の丸山敬三選手も区間賞を獲得。



■2区【鶴見→戸塚（23.1km）】

23.1kmと、箱根駅伝でも最長距離の区間で、各大学のエースが集まることから「花の2区」と呼ばれている。87回大会で村澤明伸選手が1時間06分52秒で区間賞を獲得している。



■3区【戸塚→平塚（21.4km）】

往路の中盤である3区は、はじめの1km以降は長い下りが続くスピードコースで、近年は2区とセットでエースが集う重要区間でもある。82回大会では佐藤悠基選手、97回大会では石原翔太郎選手が区間賞を獲得している。



■4区【平塚→小田原（20.9km）】

往路の順位を左右することが多く、準エース級の主力選手を投入する大学が増えている。平地区間では一番距離が短い、気温の変化が大きく細かなアップダウンが続く難コースでもある。



■5区【小田原→箱根（20.8km）】

山なりと形容され、箱根駅伝の代名詞ともいえる区間。95回大会で西田壮志選手が1時間11分18秒で区間新記録をマークしたが直後に更新された。75・76回大会の柴田真一選手、79回大会の中井祥太選手が区間賞を獲得。



■6区【箱根→小田原（20.8km）】

スタートから約4km上った後、箱根湯本駅まで一気に下っていく。中継所までの残り約3kmは平地だが、上り坂に感じるほど脚への負担が大きい。96回大会では館澤亨次選手が区間新記録をマークした。



■7区【小田原→平塚（21.3km）】

スタート直後は平坦で、9km過ぎからアップダウンが続く。全10区間の中で一番気温差が激しいのも特徴。80回大会の小出徹選手と84回大会の佐藤悠基選手、93回大会の石橋安孝選手が区間賞を獲得している。



■8区【平塚→戸塚（21.4km）】

約500m続く遊行寺の坂は、急な上り坂で脱水症状などのアクシデントへの注意も必要。95回大会では小松陽平選手が1時間03分49秒で22年ぶりに区間新記録を樹立して金栗四三杯を獲得した。



■9区【戸塚→鶴見（23.1km）】

「花の2区」を逆走するコースで、2区同様に最長距離区間。レース終盤に差し掛かるため、各大学ともに復路のエースを投入し、優勝やシード権争いが繰り広げられる。



■10区【鶴見→大手町（23.0km）】

最終10区は、フラットで走りやすいコース。75回大会以降に距離が伸びたため、準エース級の選手が集まる区間となった。気温上昇やアンカーの重圧からアクシデントが起こることが多い。



区間	コース・距離	区間記録	東海大学記録
1区	大手町 → 鶴見 (21.3km)	1.00.40	吉居 大和 (中央大学/2022年/第98回)
2区	鶴見 → 戸塚 (23.1km)	1.05.49	Y.ヴィンセント (東京国際大学/2021年/第97回)
3区	戸塚 → 平塚 (21.4km)	0.59.25	Y.ヴィンセント (東京国際大学/2020年/第96回)
4区	平塚 → 小田原 (20.9km)	1.00.00	Y.ヴィンセント (東京国際大学/2023年/第99回)
5区	小田原 → 箱根 (20.8km)	1.10.04	山本 唯斗 (城西大学/2023年/第99回)
往路	大手町 → 箱根 (107.5km)	5.21.16	青山学院大学 (2020年/第96回大会)
6区	箱根 → 小田原 (20.8km)	0.57.17	館澤 亨次 (東海大学/2020年/第96回)
7区	小田原 → 平塚 (21.3km)	1.01.40	阿部 弘輝 (明治大学/2020年/第96回)
8区	平塚 → 戸塚 (21.4km)	1.03.49	小松 陽平 (東海大学/2019年/第95回)
9区	戸塚 → 鶴見 (23.1km)	1.07.15	中村 唯翔 (青山学院大学/2022年/第98回)
10区	鶴見 → 大手町 (23.0km)	1.07.50	中倉 啓敦 (青山学院大学/2022年/第98回)
復路	箱根 → 大手町 (109.6km)	5.21.36	青山学院大学 (2022年/第98回大会)
総合	東京箱根間往復 (217.1km)	10.43.42	青山学院大学 (2022年/第98回大会)
			東海大学 (2020年/第96回大会)